

2-1. 通学区域に関する アンケート調査報告書

尾山台小学校 近隣3校通学区

未就学児保護者

【原市小学校、原市南小学校、瓦葺小学校】

令和6年5月

上尾市教育委員会

目次

1. 概要.....	1
1) 調査の目的.....	1
2) 調査方法及び結果.....	1
①調査対象者及び回収率.....	1
②配布・回収方法、調査期間.....	1
2. アンケート調査結果（設問ごと）.....	2
調査票の設問内容.....	2
問1 尾山台小学校への就学を選択するか.....	3
問2 「問1」の回答理由.....	3
問3 重視する点（学校選択）.....	4
問4 配慮する点（学校選択）.....	5
3. アンケート調査結果（まとめ）.....	6

1. 概要

1) 調査の目的

「尾山台小学校」においては、令和4年度から全ての学年で1学級編制（特別支援学級を含めない）となり、今後もこの状態が継続することが見込まれる。このため、尾山台小学校の近隣校通学区域に居住する未就学児保護者へ通学区についての意向調査を行い、上尾市学校施設更新計画基本計画（令和5年3月改定）において定めた、「子供たちの学びに望ましい学校規模の維持（学校規模の適正化方針）」に基づき、「尾山台小学校」における学校の再編検討へ向けた参考資料とすることを目的とする。

2) 調査方法及び結果

①調査対象者及び回収率

対象者	アンケート種別	対象者数	回答者数	回答率
【以下の通学区域に居住する未就学児保護者】 ➤ 原市小学校 ➤ 原市南小学校 ➤ 瓦葺小学校	通学区域に関するアンケート	1102	658	59.7%

②配布・回収方法、調査期間

配布・回収方法	調査期間
郵送 又は WEB（※）	R6.1.18（発送）～R6.2.7

※アンケート用紙を郵送し、回答方法はアンケート用紙
又はWEB用アンケートのどちらかで回答

2. アンケート調査結果（設問ごと）

調査票の設問内容

No.	設問文
問 1	現在、尾山台小学校は、1 学年から 6 学年まで 1 学級編制の小規模な学校となっています。 今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、尾山台小学校への就学を選択できるようになった場合、尾山台小学校への就学を選択しますか。次の中から 1 つ「○」を記してください。
問 2	「問 1」で回答した理由について、次の中から 1 つ「○」を記してください。
問 3	「問 1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、どのようなところを特に重視して学校を選びますか。次の中から 1 つ「○」を記してください。
問 4	「問 1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、配慮する点は何だと思えますか。次の中から 1 つ「○」を記してください。

※ 調査結果の比率は、その設問の回答者数(全体)を基数として、小数点以下を四捨五入して算出している。四捨五入の関係で、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。

※ 任意回答のため、回答者数と各問の回答実数が一致しない場合がある。

問1 尾山台小学校への就学を選択するか

尾山台小学校への就学については、「2. 選択しない」が 92% となっている。

なお、「1. 選択する」の回答は 2%であった。

(上段：実数、下段：%)

問1 現在、尾山台小学校は、1学年から6学年まで1学級編制の小規模な学校となっています。			
今後、お子様が入学予定の小学校のほかに、尾山台小学校への就学を選択できるようになった場合、尾山台小学校への就学を選択しますか。次の中から1つ「○」を記してください。			
全体	1. 選択する	2. 選択しない	3. 分からない
657	14	602	41
100%	2%	92%	6%

問2 「問1」の回答理由

「問1」においてもっとも多い回答である、「2. 選択しない」の回答理由としては、「3. 学校が遠くなるから（近い学校があるから）」が 81% となっている。

(上段：実数、下段：%)

問2 「問1」で回答した理由について、次の中から1つ「○」を記してください。						
「問1」 回答	問2 回答数	1. 小規模な 学校だから	2. 学校が近 くなるから	3. 学校が遠 くなるから (近い学校 があるから)	4. きょうだ いが他の学 校へ就学し ているから	5. その他※
1. 選択 する	14	6	5	0	0	3
	100%	43%	36%	0%	0%	21%
2. 選択 しない	597	32	1	486	50	28
	100%	5%	0%	81%	8%	5%
3. 分か らない	39	4	2	19	2	12
	100%	10%	5%	49%	5%	31%
全体	650	42	8	505	52	43
	100%	6%	1%	78%	8%	7%

※5. その他の回答より抜粋

「問1 1. 選択する」回答者

- 「距離は多少遠くなるが許容範囲だと思う」、「遠くはなるが今の学校に馴染めなかった時の選択肢として選べるならいいと思う」など。

「問1 2. 選択しない」回答者

- 「いじめがあったり、極端に合わない子がいるとその雰囲気を6年引きずらなくてはいけないリスクがある」、「たくさんの人とふれあって成長してほしい」などの他、通学の安全等を懸念する回答が多い。

「問1 3. 分からない」回答者

- 「(引っ越してきたばかりで) 学校の特性・特色が分からないため」など、特色のある学校や、それらが子供に合うようであれば選択する可能性があるといった回答が多い。

問3 重視する点（学校選択）

学校を選択する際、重視する点については、「2.通学距離」が52%でもっとも多く、次いで「3. 通学の安全性」が26%となっている。

(上段：実数、下段：%)

問3 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、どのようなところを特に重視して学校を選びますか。次の中から1つ「○」を記してください。						
全体	1. 友達が 多く入学 する	2. 通学距 離	3. 通学の 安全性	4. クラス 替えがで きる学校 規模	5. 児童数 の少ない 小規模な 学校	6. その他※
654	59	341	173	45	6	30
100%	9%	52%	26%	7%	1%	5%

※6. その他の回答より抜粋

- 「学校の雰囲気（荒れていない・いじめがない）」、「教育内容・教育水準」などの他、通学距離及び安全性の両面を重視する等の回答が多い。

問4 配慮する点（学校選択）

学校を選択する際、配慮する点については、「2. 児童が安全に通学できる通学路」が48%でもっとも多く、次いで「1. 児童の負担を考慮した通学距離」が41%となっている。

（上段：実数、下段：%）

問4 「問1」のように、就学する学校を選択できるようになった場合、配慮する点は何だと思いますか。次の中から1つ「○」を記してください。

全体	1. 児童の負担を考慮した通学距離	2. 児童が安全に通学できる通学路	3. 保護者や地域住民に対する意見聴取	4. 保護者や地域住民に対する説明や情報提供	5. その他※
654	267	313	25	21	28
100%	41%	48%	4%	3%	4%

※5. その他の回答より抜粋

- 「学校の雰囲気」などの他、回答選択肢（1～4）を複合的に配慮する必要があるとの回答が多い。

3. アンケート調査結果（まとめ）

多くの未就学児保護者は、「学校が遠くなるから（近い学校があるから）」（問2回答）と
いった理由により、尾山台小学校への就学を「選択しない」（問1回答）との結果であった。

また、就学する学校を選択できるようになった場合に、重視する点（問3）及び配慮する
点（問4）としては、各々、「通学距離」「通学の安全性」、「児童の負担を考慮した通学距離」
「児童が安全に通学できる通学路」が多くを占めており、学校が遠くなることによる 通
学の安全性 への懸念や 児童の負担 が大きくなることを考慮し、尾山台小学校の近隣3校
通学区に居住する多くの未就学児保護者は、尾山台小学校への就学を選択しないことがう
かがえる結果となった。

さらに、（問3）就学する学校を選択できるようになった場合に重視する点として、「児童
数の少ない小規模な学校」を選択した回答数が6（約1%）であったことに対して、「クラ
ス替えができる学校規模」の回答数は45（約7%）となっており、学校規模の面において
も小規模校を選択する未就学児保護者は、少数であることがうかがえる。

今後、学校再編を進めるに当たっては、上尾市学校施設更新計画基本計画（令和5年3月
改定）に記載の徒歩による通学距離（小学校にあつては概ね1.5キロメートル以内）を目安
に、子供の発達段階、通学の安全確保、地域の道路事情等を総合的に勘案し、やむなく目安
を超えて通学する児童が発生する場合は、その通学方法についても検討していく必要がある。